

### 1 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

事業所番号	2277102188		
法人名	株式会社アイケア		
事業所名	グループホームあいの街篠ヶ瀬(東 ユニット)		
所在地	静岡県浜松市東区篠ヶ瀬町345		
自己評価作成日	平成29年10月31日	評価結果市町村受理日	平成29年12月21日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaisokensaku.nhiw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_2016_022_kani=true&amp;JiyosyoCd=2277102188-008&amp;PrefCd=22&amp;VersionCd=022">http://www.kaisokensaku.nhiw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_2016_022_kani=true&amp;JiyosyoCd=2277102188-008&amp;PrefCd=22&amp;VersionCd=022</a>
----------	---

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

評価機関名	株式会社第三者評価機構 静岡評価調査室
所在地	静岡市葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A
訪問調査日	平成29年11月15日

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

一年を通して季節の行事を多く取り入れ(お花見、イチゴ狩り、夏祭り、秋祭り、クリスマスなど)施設内を花や季節感のあるもので飾りご利用者、ご家族、職員が、共に楽しんでいます。在総診の先生協力のもと健康維持に気をつけながら寝たきり防止に取り組んでいます。

**【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】**

玄関には近所から届く薔薇、カサブランカ、ポットマム、スプレー菊が咲き誇り、職員の笑顔の対応に利用者の表情もほころび、そこかしこに優しさの花が咲いている事業所です。地域の祭りに併せて開催する事業所祭りには200名余が集い、子ども用の菓子150袋、桜ご飯、赤飯6合を5回炊いて振舞い、地域に溶け込んだ運営が叶っていることも目を惹きます。さらに自治婦人会、「なでしこ会」23名の見学も受入れ、思いもよらぬ沢山の質問に即席の認知症講座の場となってしまったとのエピソードも頼もしい限りで、ADL状態で2グループに分かれてのドライブ外出も実施していて、「できない」はなく「やってみよう」の気運に溢れています。

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場合やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	朝礼にて理念社是スローガンの唱和をし毎日共有している	スローガン「笑顔の見えるケア」を掲示、理念を毎朝唱和するなかで、至るところに笑顔の咲く事業所となっています。離職も少なく、積み重ねた日、時間は来客者の見送り一つにも「流石」と唸らせるほどに昇華していて、想いが伝わります。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	利用者が地域とつながりながら暮らしていけるよう日常的に交流している 散歩で近所を回り、挨拶をかわしたり秋祭りを一緒にやるなど	事業所祭りは地域の祭りと併せて開催することで、本年も200名余の来客者を迎え入れ、盛況のうちに幕を閉じています。他にも自治会内の婦人会、「なでしこ会」23名の見学会も受け入れ、思いもよらぬ沢山の質問に即席の認知症講座の場となってしまったとの事例もあります。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	相談にみえられた方に対応したり又地域の老人会への協力で他施設へのご案内紹介をしている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では利用者の状況又施設の状況を報告したり相談にのったりしていただいている。	偶数月の平日開催とだけ予め決めて、日は追々となっているものの、集まりに過不足は起きていません。前任の自治会長が現在は相談役となり、現自治会長と並んで出席くださり、行政と家族、事業所に役立つ地域情報を提供くださっています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者や日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	常に運営推進会議出席いただき事務所の実績取り組みについて協力して頂いている。	市役所や地域包括支援センター主催の研修会には積極的に出席し、連携に努めています。特に、地域包括支援センターとは報連相がスムーズで、困難事例も受け入れて、良好な関係を築いています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束についての研修を毎年行い又毎朝の朝礼時報告相談を受けその都度伝えていく。	玄関扉は以前は自動でしたが、燕の飛来でも動いてしまうため、現在は手動です。エスケープが常態化している人もいるため、必要に応じて施錠をしますが、それが続くことのないよう気配りをしています。また法人主催の研修会にも参加を続け、知識の共有を図っています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	会議にて徹底しその都度注意指導がある。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修にて勉強している。成年後見人を活用している利用者もいる。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	必ず重要事項、契約書の説明をし変更がある時には説明している。又同意書をいただいている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者には生活の中で意見を聞き家族においては面会時や運営推進会議にて意見要望をお聞きして反映させている。	少なくとも月1回は家族が立ち寄ってくれていますが、事業所でも「秋祭り」「クリスマス会」の行事と併催して家族会を年2回実施し、意見が直接届くよう配慮しています。要望は「連絡ノート」を経て後日協議され、日付と詳細な記録から、「速やかに応える」誠実な姿勢が視えます。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日々朝礼の中で意見提案を出し合っている 又月1回の会議にも要望や意見を出し合っている。	個人面談は設けてはいませんが、職員と管理者は都度話し合っています。また会議の場以外でも、日常的に隙間の時間を利用しての合議が慣習となっていて、情報共有を確かなものにしていきます。また利用者のことが中心とはなりませんが、朝礼では職員から必ず意見がでてきます。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	努めている 有給、希望休を積極的に取り込めるよう努力している。施設長会議にても習得させるよう連絡を受けている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新人研修または外部研修への参加 日々の中で気が付いた事は伝えていく。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	外部研修への参加 会社内外の同業者、介護事業者との交流見学をしている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所時には寄り添い傾聴する時間をより多く持ち、本人が孤立しないようにする又他の利用者と協調出来る様努める		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	アセスメント時、必ず時間を作り 要望又は困難なことをお聞きしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入所時様子観察している。その都度職員間で共有し、問題点があれば対応している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員とご利用者は信頼関係にあり 共に楽しみ、共に過ごし安全と安心な生活が出来る様努めている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族とは良好な関係が築けるよう折に触れ話をしイベント、運営推進会議への参加に協力していただき共にご利用者を見守っている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご利用者の部屋には馴染みの物を置き、家族、知人には積極的に施設の集まりに参加してもらっている。	食後の喫煙が職員の付き添いで叶っていたり、好みの新聞や乳酸菌飲料を毎朝愉しみにしている人たちもいます。以前の勤務先のOG会に家族の送迎で出かける等、行きたい処へは家族が支援くださるほか、事業所でも家族が足を運びやすくなるようイベントへの工夫を凝らしています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずにご利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	常にご利用者の全員の状態を把握し流動的に関わり合い支えあう関係が出来るよう見守っている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	過去退去した家族からもご紹介いただいたり、お亡くなりになったりした時にもご連絡を貰ったりしている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の中で希望等あればお聞きし共有する。又気があれば残し 職員で共有しできる事は叶えてあげる。	意向は会話から引出し、膨らめるようにしています。例えば写真の話題になったとき、「また始めたらどうですか?」と伝えると、自宅から持ち込んでいたカメラで撮影するようになり、今では花鳥園をはじめ外出行事では首からカメラをぶらさげて出かけることが定番となった人もいます。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	アセスメントシート、フェースシートにて聞きとった事を常に確認し共有 間違いがあれば正していく。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	常に変化に気付くと共に経過記録等に記載し共有、間違いがあれば正していく。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について会議や朝礼の中で変化に機敏に反応出来る様共有している。家族、医師とも相談し協力をいただき対応している。	毎日職員が綴る「経過記録」に介護計画書が挟んであることで、自然に目に入るようになっていて、また「連絡ノート」には内服薬の変更等逐一書き込まれているため、介護計画書につながる有益な材料となっています。	現状介護計画書は、Aユニットは管理者が、Bユニットは法人本部から来訪する介護支援専門員が作成しています。計画作成担当者の養成等、本件に係る職員育成を視野に入れていくことを期待します。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	生活管理表、経過記録への記載又医師からの助言等も共有し実践介護計画に見直しをしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご利用者がいつもベストの状態で見られるよう関係各署とも連絡を取っている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近所の公園、町内のお宮、花畑、ボランティア、周りの方々の情報をいただきながら活用している。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	往診医が殆んどだが、受診希望のご利用者は馴染のかかりつけ医に行っている。	18名中17名が在宅総合診療として事業所の協力医と個人契約しており、以前のかかりつけ医から移行しています。以前のかかりつけ医へ定期受診する1名については、バイタルサインの記録及び「生活管理表」其々のコピーを家族に持参してもらい、戻ったとき口頭で報告を受けています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週一にて訪問看護師が来所情報の共有、又はアドバイスを貰っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	往診医の利用が多いので常に情報が共有でき、又早い段階で予防処置もとってもらえる。長い入院もあまりなく良い関係を築いている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	常に家族とは連絡を取り状況把握をしていた。その中で本人に一番良い方法をチームにて支援していきたいと思っている。	協力医とは24時間連絡が取れ、何かあれば駆けつけてもらえます。近年3件の看取りに取り組んでいますが、医師との連携がスムーズなことに大いに助けられ、無事見送ることができています。「お疲れ様でした」という気持ちが強かったと、頼もしい声も職員から聞かれています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時の連絡方法対応は常に研修しており緊急連絡は解りやすい位置に貼ってある。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署の指導の下自治会の協力も得て、防災 火災訓練を定期的に行っている。	無理なく法定訓練を実施してはいますが、新たな訓練メニューへのアプローチ、地域訓練への参加や消防署を招いての具体的な指導を受ける等の進捗はありません。グーグルマップを大きく引き伸ばした「災害時避難路」を掲示している点は目を惹きます。	消防署の立ち会いを求め、課題を具体的に把握していくことを期待します。

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	1人1人のプライバシーを確保し人格の尊重をし、朝礼時 確認共有している。	個人ファイルは保管に配慮し、事務所内の棚に置いています。尿臭があれば、そっと声をかけて居室で着替えを手伝い、また体臭が強い利用者の居室は消臭剤を取り入れ、集団生活がつつがなく送れるよう気配りしています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自己決定できる方には傾聴し できる事はしていただく、希望の表出を見逃さず希望に添える事は協力していく。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入浴、食事、アクティビティー、起床、散歩、許す限り希望に沿うようにしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	自分でできる決定は自分でしていただき その人らしくおしゃれや身だしなみをして頂く。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しく出来る様に意見を聞いたりお話をしたり、利用者と職員と一緒に準備や片付けをしている。	普段の食事は、土日には真空パックとなった完成品が届き、平日は半製品を所内で味付けなどして仕上げています。秋祭りには握り寿司、雛祭りやお月見にはお弁当を注文し、クリスマスにはルーから作るこだわりシチューを提供するなど、行事食に力を入れています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	経過記録、生活管理表にて把握し一人一人に合った食事(形体)を提供をしている。午前、午後にお茶の時間を設け水分を摂取して頂いている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアをして汚れ、匂いがないようにしている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	生活管理表にて健康状態を把握して排泄リズムを確認し支援している。	入浴は1日おきとしています。足し湯対応のため、「他の人の後に入りたくない」なら一番風呂、「長湯がいい」なら最後にゆっくり気の向くままと、利用本人の意向を尊重しています。また時節の変わり湯は、柚子や菖蒲が近所から届けられて実現しています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日の運動(体操)を心がけ食事や水分をキチンと取り排泄を促している		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴日やタイミングは柔軟に対応している。場合によっては清拭や足浴をしている。	入居したばかりであったり、状態がよくない場合は排泄チェックをきめ細かに記録しており、夜間でもテープ止めのオムツ使用はゼロで、状態維持が継続しています。また消耗品の費用が嵩むことがあれば職員に注意喚起して、家族の経済的負担にも留意しています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間に睡眠が取れるよう日中はアクティビティー散歩を取り入れた支援をしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	誤薬防止に努め体調変化に注意し的確な服薬をしえんしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	食事の準備、洗濯、たたみ、生け花、掃除などその人の楽しみ、役割を持てるように支援している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	花見、イチゴ狩り、ドライブ、公園など 四季を通し外出支援している。家族との外出もある。	天候や風を考慮した散歩では、篠ヶ瀬神社を通るコースを中心に15分ほど周遊し、また玄関先のベンチで外気浴を楽しむ日もあります。フラワーパーク、花鳥園、苺狩りと、戸外でも過ごしやすい季節にはADL状態で2グループに分かれてのドライブ外出も実施しています。	



自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	人によりお金の所持をしている。お出かけ時使用することもある。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人自らが電話をしたり、手紙のやりとりをしており、はがきを用意したりポストに投函したりして支援している。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	窓や天窓をあけ、風を入れたりエアコンを使って調節、又季節の飾り物をして四季を感じてもらっている。	天窓から差し込む射光を邪魔するものが無く、冬でも陽の光と温かみを感じることができ、また壁にも温もりのある芸術的な絵画が数点展示され、気分が落ち着きます。換気には特に注意し、職員が温度計を確認しつつ、天窓の開閉にも気配りして快適な室温を保っています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	個々の部屋に入ったり新聞を読んだりして一人の時間を大事にしている。又2ユニット一緒に過ごす事も多く、仲の良い人と団らんしている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	個々の部屋に入ったり新聞を読んだりして一人の時間を大事にしている。又2ユニット一緒に過ごす事も多く、仲の良い人と団らんしている。部屋は馴染のあるものを身近に置き自身の空間づくりをしている。利用者職員が一緒に、季節を感じられるような工夫をしている。	これまで畳での生活をしてきた人は、居室にも畳を敷き詰め、布団の上げ下げは職員が手伝うことで生活環境を同じくして暮らすことが出来ています。利用者が起き上がるとセンサーが感知してパソコンに通知され、音が鳴る「a.a.m.s.介護」というソフトが導入され、9名が使用しています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内はバリアフリー、補助棒を使用安全上気をつけている。利用者によっては入口に標をつけ自身が自立して過ごせるようにしている。		

### 1 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

事業所番号	2277102188		
法人名	株式会社アイケア		
事業所名	グループホームあいの街篠ヶ瀬(西 ユニット)		
所在地	静岡県浜松市東区篠ヶ瀬町345		
自己評価作成日	平成29年10月31日	評価結果市町村受理日	平成29年12月21日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaisokensaku.nhiw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_2016_022_kani=true&amp;JiyosyoCd=2277102188-008&amp;PrefCd=22&amp;VersionCd=022">http://www.kaisokensaku.nhiw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_2016_022_kani=true&amp;JiyosyoCd=2277102188-008&amp;PrefCd=22&amp;VersionCd=022</a>
----------	---

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

評価機関名	株式会社第三者評価機構 静岡評価調査室
所在地	静岡市葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A
訪問調査日	平成29年11月15日

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

一年を通して季節の行事を多く取り入れ(お花見、イチゴ狩り、夏祭り、秋祭り、クリスマスなど)施設内を花や季節感のあるもので飾りご利用者、ご家族、職員が、共に楽しんでいます。在総診の先生協力のもと健康維持に気をつけながら寝たきり防止に取り組んでいます。

**【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】**

玄関には近所から届く薔薇、カサブランカ、ポットマム、スプレー菊が咲き誇り、職員の笑顔の対応に利用者の表情もほころび、そこかしこに優しさの花が咲いている事業所です。地域の祭りに併せて開催する事業所祭りには200名余が集い、子ども用の菓子150袋、桜ご飯、赤飯6合を5回炊いて振舞い、地域に溶け込んだ運営が叶っていることも目を惹きます。さらに自治婦人会、「なでしこ会」23名の見学も受入れ、思いもよらぬ沢山の質問に即席の認知症講座の場となってしまったとのエピソードも頼もしい限りで、ADL状態で2グループに分かれてのドライブ外出も実施していて、「できない」はなく「やってみよう」の気運に溢れています。

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	朝礼にて理念社是スローガンの唱和をし毎日共有している		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	利用者が地域とつながりながら暮らしていけるよう日常的に交流している 散歩で近所を回り、挨拶をかわしたり秋祭りを一緒にやるなど		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	相談にみえられた方に対応したり又地域の老人会への協力で他施設へのご案内紹介をしている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では利用者の状況又施設の状況を報告したり相談にのったりしていただいている。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	常に運営推進会議出席いただき事務所の実績取り組みについて協力して頂いている。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束についての研修を毎年行い又毎朝の朝礼時報告相談を受けその都度伝えている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	会議にて徹底しその都度注意指導がある。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修にて勉強している。成年後見人を活用している利用者もいる。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	必ず重要事項、契約書の説明をし変更がある時には説明している。又同意書をいただいている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者には生活の中で意見を聞き家族においては面会時や運営推進会議にて意見要望をお聞きして反映させている。		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日々朝礼の中で意見提案を出し合っている 又月1回の会議にも要望や意見を出し合っている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	努めている 有給、希望休を積極的に取り込めるよう努力している。施設長会議にても習得させるよう連絡を受けている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新人研修または外部研修への参加 日々の中で気が付いた事は伝えていく。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	外部研修への参加 会社内外の同業者、介護事業者との交流見学をしている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所時には寄り添い傾聴する時間をより多く持ち、本人が孤立しないようにする又他の利用者と協調出来る様努める		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	アセスメント時、必ず時間を作り 要望又は困難なことをお聞きしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入所時様子観察している。その都度職員間で共有し、問題点があれば対応している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員とご利用者は信頼関係にあり 共に楽しみ、共に過ごし安全と安心な生活が出来る様努めている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族とは良好な関係が築けるよう折に触れ話をしイベント、運営推進会議への参加に協力していただき共にご利用者を見守っている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご利用者の部屋には馴染みの物を置き、家族、知人には積極的に施設の集まりに参加してもらっている。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずにご利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	常にご利用者の全員の状態を把握し流動的に関わり合い支えあう関係が出来るよう見守っている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	過去退去した家族からもご紹介いただいたり、お亡くなりになったりした時にもご連絡を貰ったりしている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の中で希望等あればお聞きし共有する。又気があれば残し 職員で共有しできる事は叶えてあげる。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	アセスメントシート、フェースシートにて聞きとった事を常に確認し共有 間違いがあれば正していく。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	常に変化に気付くと共に経過記録等に記載し共有、間違いがあれば正していく。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について会議や朝礼の中で変化に機敏に反応出来る様共有している。家族、医師とも相談し協力をいただき対応している。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	生活管理表、経過記録への記載又医師からの助言等も共有し実践介護計画に見直しをしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご利用者がいつもベストの状態で見られるよう関係各署とも連絡を取っている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近所の公園、町内のお宮、花畑、ボランティア、周りの方々の情報をいただきながら活用している。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	往診医が殆んどだが、受診希望のご利用者は馴染のかかりつけ医に行っている。		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週一にて訪問看護師が来所情報の共有、又はアドバイスを貰っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	往診医の利用が多いので常に情報が共有でき、又早い段階で予防処置もとってもらえる。長い入院もあまりなく良い関係を築いている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	常に家族とは連絡を取り状況把握をいただいている。その中で本人に一番良い方法をチームにて支援していきたいと思っている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時の連絡方法対応は常に研修しており緊急連絡は解りやすい位置に貼ってある。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署の指導の下自治会の協力も得て、防災 火災訓練を定期的に行っている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	1人1人のプライバシーを確保し人格の尊重をし、朝礼時 確認共有している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自己決定できる方には傾聴し できる事はしていただく、希望の表出を見逃さず希望に添える事は協力していく。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入浴、食事、アクティビティー、起床、散歩、許す限り希望に沿うようにしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	自分でできる決定は自分でしていただき その人らしくおしゃれや身だしなみをして頂く。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しく出来る様に意見を聞いたりお話をしたり、利用者と職員と一緒に準備や片付けをしている。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	経過記録、生活管理表にて把握し一人一人に合った食事(形体)を提供をしている。午前、午後にお茶の時間を設け水分を摂取して頂いている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアをして汚れ、匂いがないようにしている。		



自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	生活管理表にて健康状態を把握して排泄リズムを確認し支援している。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日の運動(体操)を心がけ食事や水分をキチンと取り排泄を促している		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴日やタイミングは柔軟に対応している。場合によっては清拭や足浴をしている。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間に睡眠が取れるよう日中はアクティビティー散歩を取り入れた支援をしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	誤薬防止に努め体調変化に注意し的確な服薬をしえんしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	食事の準備、洗濯、たたみ、生け花、掃除などその人の楽しみ、役割を持てるように支援している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	花見、イチゴ狩り、ドライブ、公園など 四季を通し外出支援している。家族との外出もある。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	人によりお金の所持をしている。お出かけ時使用することもある。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人自らが電話をしたり、手紙のやりとりをしており、はがきを用意したりポストに投函したりして支援している。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	窓や天窓をあけ、風を入れたりエアコンを使って調節、又季節の飾り物をして四季を感じてもらっている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	個々の部屋に入ったり新聞を読んだりして一人の時間を大事にしている。又2ユニット一緒に過ごす事も多く、仲の良い人と団らんしている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	個々の部屋に入ったり新聞を読んだりして一人の時間を大事にしている。又2ユニット一緒に過ごす事も多く、仲の良い人と団らんしている。部屋は馴染のあるものを身近に置き自身の空間づくりをしている。利用者職員が一緒に、季節を感じられるような工夫をしている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内はバリアフリー、補助棒を使用安全上気をつけている。利用者によっては入口に標をつけ自身が自立して過ごせるようにしている。		